

中学生英語スピーチコンテスト開催結果

9月15日（日）、秦野市保健福祉センター多目的ホールを会場に、第13回目となる中学生英語スピーチコンテストが開催されました。

当日は、午後1時30分に開会し、山谷洋子中学生英語スピーチコンテスト実行委員長と高橋市長の挨拶の後、スピーチが開始されました。

今回は、中学1年生から3年生まで15名が参加し、それぞれが日頃感じている思いや考えをスピーチに込めて発表しました。

自由なテーマのもと発表されるスピーチは、将来の夢や社会が抱える問題など多岐にわたる内容となっており、出場者は舞台上での発表に緊張しながらも頑張って英語でスピーチを披露しました。



来場者約 90 名



◆入賞者発表&表彰◆

全員のスピーチ発表が終了した後、休憩を挟んで2023年度スピーチコンテスト上位入賞者3名による活動報告を行い、スピーチコンテストに出場したことや副賞の韓国・坡州市訪問を通じて経験したことを発表しました。

その後の表彰式では、最初に来場者の投票により選ばれたオーディエンス賞が発表され、国際交流協会の三浦義政副会長から賞状と副賞の木製シャープペンシルが贈られました。

続いて、第6位から順番に名前が発表され、第6位には秦野丹沢ライオンズクラブの池上紀子会長、第5位には秦野名水ロータリークラブの東島礼美副会長、第4位は秦野パサデナ友好協会の山口昌男理事から賞状が授与されました。

第3位は秦野・坡州友好協会の福森登会長から、第2位には秦野ロータリークラブの郭根男会長、優勝者には、秦野市国際交流協会の会長でもある山谷洋子実行委員長からそれぞれ賞状と楯が授与されました。

第3位には、南が丘中学校2年の木島里緒さん、第2位には、本町中学校3年の奥村美鶴稀さんが入賞しました。そして、栄えある第1位は、西中学校2年の八田悠莉さんでした。

今年度は、上位入賞者3名に副賞（韓国坡州市への派遣・2泊3日予定）が贈られます。

最後に、菅家知洋審査委員長から、より良いスピーチを作り上げるには「導入 (Introduction)」「本論 (Body)」「結論 (Conclusion)」を意識し、スピーチの「構成 (Organization)」を考えていくことが重要であるとの御講評をいただき、コンテストは幕を閉じました。



【入賞者】

第1位：八田 悠莉	第2位：奥村 美鶴稀
第3位：木島 里緒	第4位：佐藤 咲那
第5位：古市 小夏	第6位：並木 伶奈
オーディエンス賞：奥村 美鶴稀	